

# SPA932 の設定

## 目次

[概要](#)  
[どのよう](#)  
[に](#)  
[SPA932](#)  
[を設定](#)  
[しま](#)  
[すか](#)  
[。](#)  
[関](#)  
[連](#)  
[情](#)  
[報](#)

## 概要

この記事は、Cisco Small Business 製品 ( 以前の Linksys Business シリーズ ) のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援するドキュメントの 1 つです。

### Q. [SPA932 を設定する方法](#)

A.

SPA932 は SPA962 向けの 32 ボタン アテンダント コンソールです。各 SPA932 ユニットは 32 のプログラム可能な短縮ダイヤルまたはダイレクト ステーション セレクト ( DSS ) ボタンを提供し、それぞれの点灯ボタンは、話中ランプ フィールド ( BLF ) を使って、回線状態 ( アイドリング中、呼び出し中、話中、またはヌル ) を示します。着信コールは、SPA932 の内線番号に指定されたボタンを押すことで、適切な番号に即座に転送できます。1 台の SPA962 には 2 つの SPA932 ユニットを取り付けることができ、合計 64 の個別回線をモニターできます。

### ステップ 1:

SPA932 が接続される SPA962 のための管理 Webサーバに接続して下さい。SPA962 を SPA932 と使用するために、それはリリース 5.1.12 またはそれ以降を実行したにちがいありません。

### ステップ 2:

/Web管理者 サーバページで進められて『Admin』 をクリックして下さい。

### ステップ 3:

SPA932 タブをクリックして下さい。SPA932 タブを見ない場合、ファームウェアのバージョンをチェックし、必要に応じてアップグレードして下さい。

### ステップ 4:

ユニット 1 イネーブル プルダウン選択リストから『Yes』 を選択して下さい。SPA932 タブをクリックして下さい。SPA932 タブを見ない場合、ファームウェアのバージョンをチェックし、必要に応じてアップグレードして下さい。

2 つの SPA932 ユニットのインストールする場合、またユニット 2 イネーブル プルダウン選択リストから『Yes』 を選択して下さい。

### ステップ 5:

テストモード イネーブル選択リストで選択されないことを確かめて下さい。SPA932 をテストするために役立つこのオプションはデフォルトでディセーブルにされます。このオプションが有効になる場合 SPA932 のためのソフトウェアコンフィギュレーションを完了できません。

### ステップ 6:

選択したどの SIPプロキシサーバに必要な設定を完了して下さい。次の情報が SPA932 設定を完了することを必要とします:

サポートされた場合サーバのIPアドレス (またはホスト名)  
?電話や拡張またはユーザID

### ステップ 7:

SPA932 を使用して監視したいと思うユーザが各拡張向けに設定 スクリプトをで入力して下さい各キーのための適切なフィールド。

**注:** 各キーの隣で前に提供される領域のユーザが拡張番号を確認できます進行。これは各フィールドで正しい情報を入力するようにするのに役立ちます。

設定 スクリプトは等号によって次のキーワードで、続かれて構成されます (=)  
そしてセミコロンで分けられて (;):

fnc 定義します指定されたキーのために次の機能の有効になる (プラス記号との複数の機能を (+) 分類して下さい:

-行アクティビティのモニタために使用される blf 使用中ランプ フィールド 機能

-sd 速度ダイヤル 機能

- ( SIPプロキシサーバによってサポートされた場合 ) CP コール積み込み

?副使用監視されるべき電話を識別するこのキーワード。

?usr -監視されるべき特定のユーザが拡張を識別するのにこのキーワードを使用して下さい。

?nme- ( optional ) 使用 エイリアスを識別する Linksys IP Phone設定の拡張に割り当てられた SPA9000 のこのフィールド。

?複数の BLF によって監視されるリストが SIPプロキシサーバで設定される時 vid- ( optional ) 使

用 sub= キーワードによって規定される監視されたリストと使用するために SPA962 拡張を識別するこのフィールド。有効値は SPA962 で利用可能な 6 つの拡張のそれぞれに相当して 1 から 6、です。

注: ただ各 SPA962 拡張に割り当てられる最初のエントリで vid= キーワードを使用する必要があります。

それに続くキーは同じ拡張を使用します。

## Broadsoft 構文

以下は Broadsoft サーバのためのエントリ例です:

```
fnc=enabled_functions; sub= blf_list_uri@broadsoft; usr= dn@broadsoft
```

次の通り、変数を ( イタリック体で ) 取り替えて下さい:

コールピックアップのための CP、速度ダイヤルのための sd、および使用中ランプ フィールドのための blf との enabled\_functions; プラス記号との順序で別々の複数の機能 ( + )

?Broadsoft サーバの BLF モニタリング リストに割り当てられる URI の blf\_list\_uri。

?Broadsoft サーバの IP アドレス または ホスト名の broadsoft。

?監視されたユーザー一覧のユーザアカウントと関連付けられる数との dn。

たとえば、以下は IP アドレス 192.168.100.1 との Broadsoft サーバのマーケティングの BLF モニタリング リスト URI を持つユーザアカウント受信のための、短縮ダイヤルおよび BLF モニタリングを有効にします:

```
fnc=sd+blf;sub=marketing@192.168.100.1;usr=reception@192.168.100.1
```

注: nme キーワードは Broadsoft サーバが自動的に割り当てられたユーザを使用するので使用されません  
アカウント名。

### ステップ 8 :

SPA932 を使用して監視していること各拡張またはユーザ向けのステップ 6 を繰り返して下さい。

### ステップ 9 :

ページの一番下に**すべての変更** 『SUBMIT』 をクリックして下さい。

## [関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)